

学校だより

73 岩中の構え

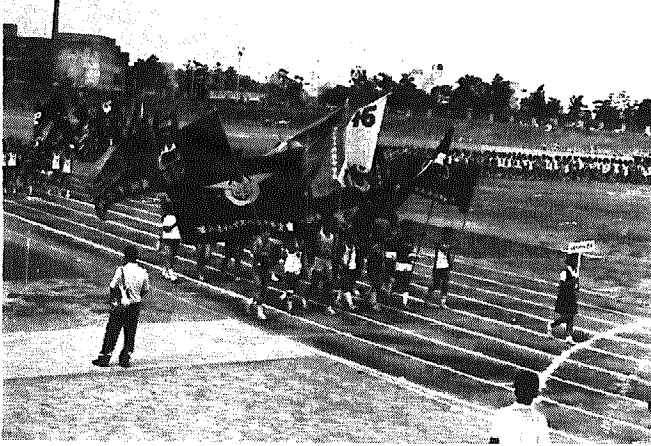
—岩室中学校—

かつて、地域の人々が中学校の統合にふみきり、新しい岩室中学校を創造するために英和と力を結集してから、ここに十年を迎えることになる、この、スピードと流動の時代にあつては、小学校百年の歴史の間に匹敵するかも知れない。

統合当初、六百人の生徒、一五学級でスタートしたが、十年にして、四百人をわたり十学級となった。増えるのと異なり、逆に減るのはある種の淋しさを思わせる。だが、岩中の生徒は量にこだわらず、質的に何をするかという発想で、精いっぱい動きまわっているようすが見られる。

統合十年にあたり、本年度の構想を要約してお伝えしたい。  
1 生徒数・学級数  
統合以来最も少ない生徒数が四百人をわったが、少数精鋭の構えで進んできた。

2 教職員数	校長、教頭、教諭(男11)
3 学年別生徒数	一年 112 二年 112 三年 112 合計 336
4 学年別学級数	一年 15 二年 15 三年 15 合計 45



3 岩中教育に対する構え  
人間尊重の理念にたつて岩中教育の改善と充実を

教5) 養教、事務の20名  
これまた統合以来最少の定数だが、教育活動の量も質も減らない。四百人の生徒のために、がんばっていききたい。

知的形成にかかわる改善  
ことに對する不遜を少しでも除去していくように努める。  
生徒個々を、どう伸ばしたらよいかを検討する。生徒自らが、積極的に創造的に学びとる力を、少しでも伸ばしていきたい。創造的といつても、決して高度な天才的なことをねらっているのではない。気楽に平易に、各人にとつて新しいものを附加することによい。これまで気づかなかつた、これえつかなかつたことに、気づいたり考えたりすることができるようならば、創造的ということにならないか。

4 本年度の努力点  
筋をとおして考えぬいて問題を解決しようとする力を伸ばす。  
生徒自らが創造的に学びとる知的な力を伸ばした

人間は何か学習することのできる力、エネルギーをもっている。それに学習時間の長さ、かけ合わせることにより、学習という仕事ができることになる。  
自らの力で、現にもっているものよりも、現にもっていないより高いものを、かく得した時に、意欲と充実感がありあがるであろう。

5月の保健衛生事業

ポリオ生ワクチン

月日	会場	受付時間	対象者
5月31日(木)	岩室村役場	午後1時~2時	47年1月1日~48年1月31日生れた者

心を太陽と緑をもつて飛躍する生徒  
をスロガンに、生徒活動もりあげ、フアイトと知性を伸ばすことを願っている。やがて学校プールが創られる。うれしい限りだ。こうした岩中の動きに、家庭、地域の人々の積極的な協力、ご支援をお願いいたします。

い。  
各教科、道徳、特別活動生徒活動(クラブ、生徒会、学級会)学級指導、学校行事の全面にわたつて、努力点の達成をはか

柏若大小佐	氏名	死亡の部
木杉岩林野	兼寅 静敬	
吉吉セ男一		
7588928553	年令	死亡月日
4 3 3 3 3		9 2 8 2 4 2 3 2 1
サ喜太チ千	世帯主	部
キ作一ヨ秋		落
間間 間和	部	
瀬瀬原瀬納	落	
6 4 7 4		

阿本大宗後堀早小团大	氏名	出生の部
久保村藤部川松原治	妙み 一宏 嘉 孝 真知	
子り学昌隆隆一剛明子		
4 4 3 4 4 3 3 3 3 3	生年月日	
6 3 3 1 2 2 2 4 1 1 7 1 6 1 3		
正正直字輝清精	与志男	保護者
一 互明		
男女樹郎久治一		
和和西間橋西和石西夏	部	
納納長瀬 納 長	落	
2 2 島 7 本 中 3 瀬 島 井		

本海赤和武岡小五穂佐高八井本石和本大本伊金若	氏名	婚姻の部
田津川田石崎池風口藤柳子沢間添	△正キ秋優一孝延美豊厚英光忠正一 一和和き紀	
ツ一ツ夫子郎子喜子秋子治子義子義 夫夫人子よ		
和 和 岩 新 南 石 栄 岩 和 和 間	新	
納 納 室 谷 内 瀬 室 納 納 瀬	住	
6 5 室 谷 内 瀬 5 6 6	所	

おめでとう  
おめでとう  
おめでとう

日 4 月 まで 19